

第1章 星空散歩

はじめに

昼間の地球を宇宙から眺めてみると、表情豊かな青い色をした星に見えます。白い雲は日々形を変え、緑と茶色の大地が雲間から顔を覗かせます。夜の地球を宇宙から眺めてみるとどうでしょう。私たちが住んでいる日本はみなさんが普段使っている街灯りによって形がはっきりと分かるほど明るく輝いています。こんなにたくさんの灯りを使っていると生活をするのには便利かもしれませんが、星空散歩には少し不便です。なるべく街灯りの影響の少ない場所を探して移動しなければなりません。それでも、日本国内には大昔のような満天の星が眺められる場所はほとんど残っていません。もし、1年のうち、ほんの1時間だけでも街の光を一斉に消灯したなら、自分たちが住む街の真上に広大な宇宙が広がっていることを実感できるでしょう。そこに広がるのも私たちが住んでいる世界の一部です。

大昔から人間は夜空に特別な思いを抱いてきました。星たちが作る模様を様々な形に見立て星座を作り、たくさんの物語を作りました。また、星座を目印に、その中を動く太陽や月、惑星の位置を観察して、カレンダーや星占いを作りました。生活そのものが宇宙と関係していた時代です。今では宇宙のことを知らなくても生活ができるようになりましたし、見える星の数も変わってしまったかもしれませんが、星空を眺めて感じる思いは、今も昔もそんなに変わっていないのではと思います。地域や国や地球という単位ではなく宇宙という単位で、そこに住む地球人として、私たちの住むこの世界に思いを馳せるのはとても大切なことです。1時間の消灯は難しいかもしれませんが、星空散歩を楽しむために空に光が漏れない努力はできるかもしれません。それが限られた地球の資源を守ることにもつながります。一人ひとり、それぞれの思いで宇宙を眺めてみてください。

この章は、望遠鏡や双眼鏡などの道具を使わずに見ることのできる星空について書いてあります。星空を見る時にまずやらなければならないこと、それぞれの季節の星座の見つけ方など、星空散歩の楽しみ方や基本を解説しました。厳密には正確でない表現や内容がたくさんあるかもしれませんが、そこは宇宙のように広い心で許してください。慣れないと分かりにくい部分もあるかもしれません。

まあ、難しいことは考えず、とりあえず今晚夜空を見上げてみましょう。